

働く人の行動災害を防ぐために

室蘭労働基準監督署独自スローガン

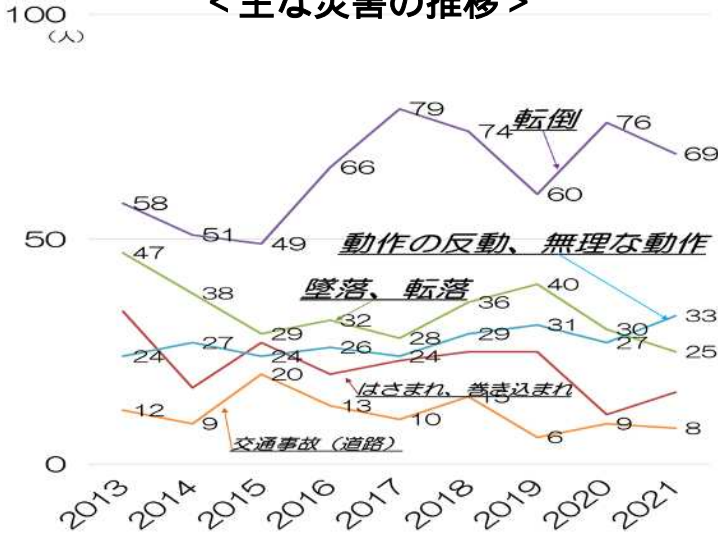
現場力で築く だれもが安心して働ける**いぶり**

労働災害の発生状況(事故の型別)

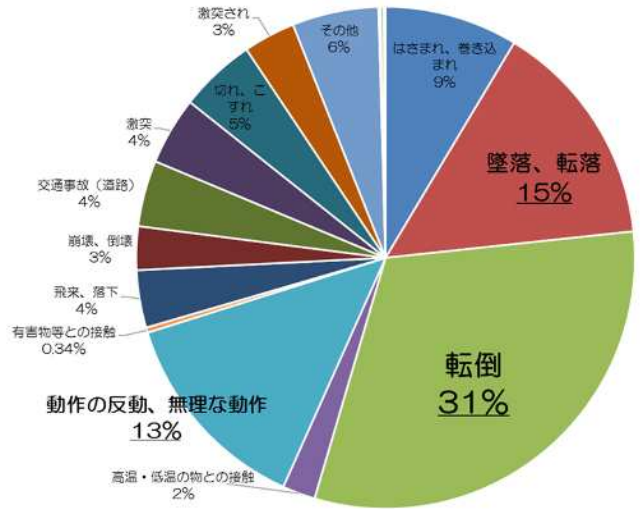
行動災害とは・・・「転倒」及び腰痛等の「動作の反動、無理な動作」「墜落・転落」など、職場における労働者の作業行動を起因する労働災害

転倒災害が最も多く、腰痛、墜落・転落災害等「行動災害」が多くを占めている。

< 主な災害の推移 >

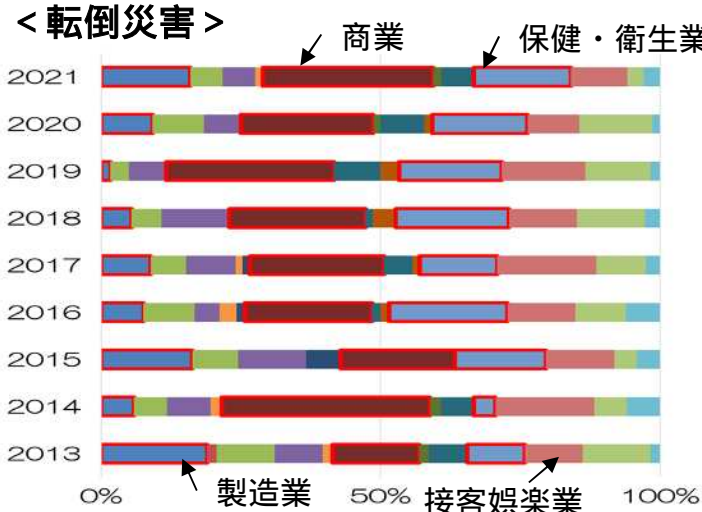


< 事故の型別発生状況 (H30-R3) >



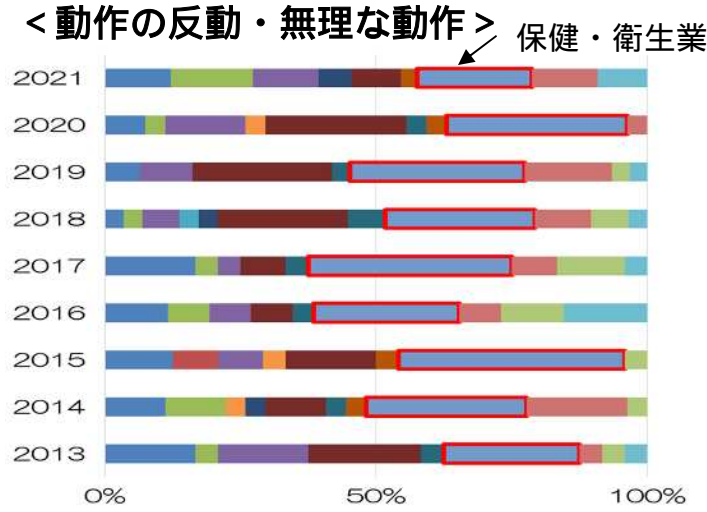
「転倒」・「動作の反動・無理な動作」災害の特徴

< 転倒災害 >



製造業、商業、保健・衛生等の第三次産業の割合が高い

< 動作の反動・無理な動作 >



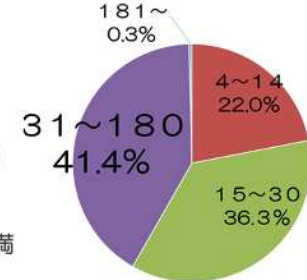
保健・衛生（特に社会福祉施設）の割合が高い

経験年数別



経験問わず発生

休業見込み



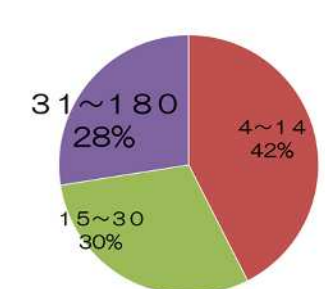
1ヶ月超が4割強

経験年数別



初心者及び熟練者で発生

休業見込み



1ヶ月超が約3割

転倒災害防止対策のポイント

“滑り” つまづき” 踏み外し”の危険箇所の特定及び対策

床面の濡れ等による滑り 放置された物につまづき 階段の段差の踏み外し



ここをチェック

床面の濡れ、凍結、雪の有無



ここをチェック

足元に物の放置の有無



ここをチェック

駆け足で上り下りの有無



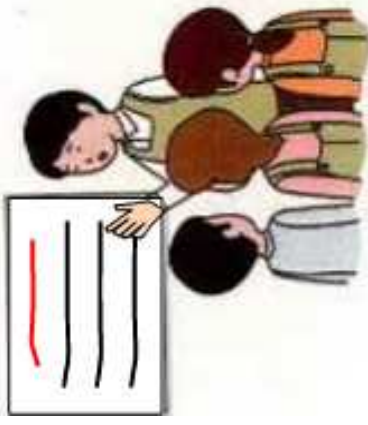
滑りにくい靴の着用

整理整頓

危険箇所の見える化

転倒災害防止の重要性の教育

転倒の危険性について認識させること



<教育内容(例)>

- 災害の発生状況・被災発生リスクの高い場所、作業通路の確保・4Sの重要性
- 適切な靴の選定
- 身体能力を把握すること
- 効果のある体操の実施

適切な靴の選定のポイント



教育教材の活用



STOP!転倒災害

検索



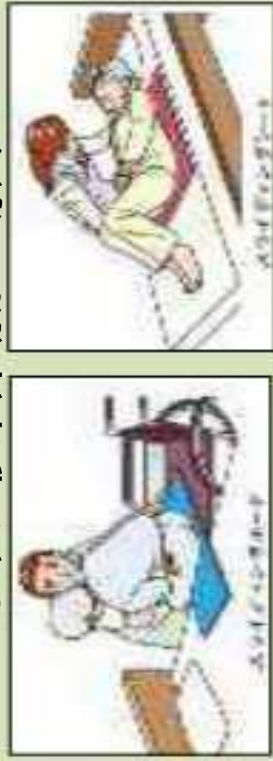
腰痛災害防止対策のポイント

腰への負担を軽減するための対策の推進

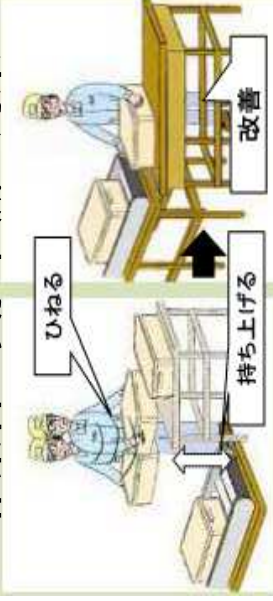
機器・器具の積極的な活用



まずは移乗介助から導入



作業者の負担軽減の対策

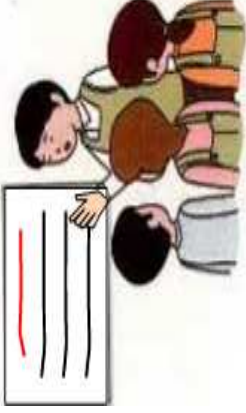


荷の持ち運び方



腰痛予防の教育(特に雇い入れ時)

腰痛の発生要因と対策のポイントを教育



<教育内容(例)>

- 福祉機器の適正な使用
- 移乗作業時の作業姿勢
- 4Sの重要性
- 効果的な体操の実施

教育教材の活用



腰痛予防対策

検索

